

四国中央市・新宮で開催

ふるさとを守り
デザインする！

地域の夢

の

参加費
無料

描き方



こんなお悩みにアプローチ！

- ✓ 公民館を拠点とした地域運営のトレンドを知りたい！
- ✓ 住民のやる気を引き出すポイントを知りたい！
- ✓ ナッジをどうすればいいの？

ゲストスピーカー



石田 貢三 島根県益田市
地域プロジェクトマネージャー

1954年島根県益田市生まれ。
益田の建設資材企業に職中より地元自治会の自治会長、益田市立益田児童館館長を務める。
退職後は、パソコンよろずサービス業を営むとともに、2012年から2015年まで益田市嘱託の集落支援員「地域力アップ応援隊」。2019年より、地域運営組織「ますだ地域づくり協議会」の副会長。2014年より、地域サポート人ネットワーク協議会サポート人アドバイザーとして地域おこし協力隊、集落支援員初任者研修等でアドバイザー。

主催 愛媛県
事業受託 (公財) えひめ地域活力創造センター

内容

これまでも、社会教育施設である地域の公民館は「まちづくり」に欠かせない存在でした。教育というエッセンスをまちづくりに生かす。今回は、一周回って再びこれからのトレンドになりつつある「人づくり＝まちづくり」について学び、一緒に考えます。

開催場所

道の駅 (四国中央市新宮町馬立4491-1)
霧の森 交湯～館 研修室

日時

2 / 19 (木) 講座&意見交換
14:00 ▶ 16:30

定員

20 名 締切：2/13 (金) まで
(定員になり次第募集終了)



メインスピーカー

鍋島 悠弥

総務省地域力創造アドバイザー
愛媛県集落支援員

「地域の主体性」をどう育むか。過疎地で活動を持続するには、ヒト・モノ・カネ、そして「トキ（継続）」の視点が欠かせません。この「トキ」とは、地道な信頼関係を築く時間であり、小さな成功を積み重ね、活動を「我がコト」にしていくプロセスです。島根県益田市の「人づくり」の実例を交えながら、地域の活力を未来につなぐ「次の一手」を一緒に見つけましょう！

お申込はこちら



<https://logoform.jp/form/XG6n/1403898>